



刑事政策公開講演会

令和6年1月26日(金) 15:00-18:00

講演①

「実証的根拠に基づく実践と能力構築を通じた犯罪者処遇の強化」

スティーブ・ピッツ氏（欧州保護観察連合担当大使）

講演②

「イングランド及びウェールズの少年司法」

チャーリー・テイラー氏（英国刑務所監査局長）

開催方法

- ・会場参加：法務省大会議室
（中央合同庁舎6号館地下1階）
- ・オンライン：Zoomウェビナー

定員

- ・会場参加：100名
- ・オンライン：500名

参加方法

事前申込制（詳細は裏面参照）

参加費用

無料

※日英同時通訳あり

15:00▶開会 主催者挨拶

15:10▶講演①(スティーブ・ピッツ氏)

16:20▶休憩

16:40▶講演②(チャーリー・テイラー氏)

17:50▶閉会挨拶

講師紹介

スティーブ・ピッツ氏(欧州保護観察連合担当大使)



ロンドンの保護観察官として更生保護の世界に入り、国家公務員として機関連携、出所者の生活再建、保護観察の質や効果を上げるための施策に従事してきた。国際的には、ヨーロッパ保護観察協会に出向し、保護観察部門のアドバイザーの一人としても活躍した。また、刑務所・保護観察サービス国際チームを立ち上げ、ヨーロッパ多機関連携効果実務研究及びその導入プロジェクト、国際司法協カプログラムなどを率いた。さらに、世界保護観察会議を発案し、それを発展させ、実現させた。現在は、独立して、欧州保護観察連合担当大使の立場から、国際的な知識交換及び効果的で持続可能な社会内司法の発展の強力な提案者として活躍する。

チャーリー・テイラー氏(英国刑務所監査局長)

ロンドンの小中学校で長年教鞭を執り、特別な教育的ニーズを持つ生徒のサポートを専門として、2005年には重度の感情的および行動的困難を持つ子供たちのためのウィローズスペシャルスクール(現在のウィローズスクールアカデミー・トラスト)の校長を務めた。

また、教育省顧問、全国教育リーダーシップ機関最高経営責任者も務めた。

さらに、2015年の少年司法制度改革を主導し、少年矯正の新しいモデルを含む幅広い提言を行った。2017年には少年司法委員会委員長に就任し、最も困難な生徒をサポートする学校の能力を向上させるためのアドバイザーとして教育省とも連携した。2020年に英国刑務所監査局長に就任。



参加申込方法

会場参加ご希望の方

会場参加を希望される方は、令和6年1月19日(金)までに以下の参加登録ページからお申込みください。なお、人数が定員に達した場合はオンライン参加への変更をお願いすることがありますので、予めご了承ください。同一氏名で複数のお申込みがあった場合は、最新のお申し込みのみを受け付けいたします。

【参加登録ページ(会場参加用)】

<https://forms.gle/NBA9TYzMWsUrtUPD9>



オンライン参加ご希望の方

オンライン参加を希望される方は、令和6年1月25日(木)までに以下の参加登録ページからのご登録が必要です。ご登録後、ご記入いただいたメールアドレスに「no-reply@zoom.us」より登録確認メールが配信されます。なお、本講演会は、ビデオ会議ツールの「Zoom」のウェビナー機能を利用して開催しますので、ご出席予定のご環境でZoomが使用可能であることを「Zoomの接続テスト」(<https://zoom.us/test>)で事前にご確認いただくか、アプリケーションをインストール願います。

【参加登録ページ(オンライン参加用)】

https://zoom.us/webinar/register/WN_R0v6XYtiS9aL9d6btx2wsA



※お申込受付は先着順とし、定員に達し次第、締め切ります。

(定員に達した場合、参加登録ページには「登録が終了しました」と表示されます。)

◎当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合、オンライン配信をやむを得ず中止する可能性があります。

◎ご提供いただく個人情報については、当方で厳重に管理し、本イベント及び連携企画の開催、運営に関してのみ使用させていただきます。



【お問合せ先】

国連アジア極東犯罪防止研修所 (担当: 植木、吉田、大谷)

〒196-8570 東京都昭島市もくせいの杜2-1-18

TEL: 042-500-5100 (代表) 042-500-5183 (直通)

E-mail: event.unafei@i.moj.go.jp